

10. ハンディキャップ委員会活動へのご協力のお礼とお願い

平成24年 9月

障がいを持つ方々のスキーをはじめとするウィンタースポーツを支援してゆく目的のために、任意団体から財団法人神奈川県スキー連盟に移行して3年目に発足したハンディキャップ委員会は13年目を迎えます。数多くのボランティアの方々をはじめ、関係組織の方々に支えていただき一歩ずつではありますが活動を進めてきました。今年度、財団法人神奈川県スキー連盟からより公益性の強い、健全な組織、公益財団法人神奈川県スキー連盟に衣替えをしてスタートする事になり、ハンディキャップ委員会も尚一層の内容の充実した取り組みが望まれます。

昨シーズン、ハンディキャップ委員会の取り組みとして1月五竜・3月の車山の障がいをもつ人のためのスキー教室、4月の鹿沢チャレンジカップスキー大会の3事業で障がいを持つ方々の支援活動を行いました。そして支援活動をよりよくするために障がいを持つ方への外出支援法（10月）、雪上での介助法（1月）についての講習会を開催しました。1月の五竜で総勢56名、3月の車山では総勢106名、4月の鹿沢で10名の参加で無事終了することが出来ました。皆さまのご協力にあらためて御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

ハンディキャップ委員会では、これらの活動の重要性を再認識し、スキーをはじめとするウィンタースポーツをより楽しみたいと望んでいる障がいを持つ方々と共に、更に一歩前に進んでいきたいと思っております。過去の実践で得られた貴重な経験を踏まえ、今年度も疑似体験を通して、委員はもちろんボランティアの方々が、障がいについての理解を深め、よりよい支援活動が可能となるようにと「ハンディキャップセミナー（障害者のサポートについて・雪上でのサポート指導実践）」を開催いたします。また3月の車山スキー教室では、障がいを持つ方々が参加しやすいように往復バスを利用し、ボランティア登録をいただいている皆様のご協力のもと往復バス、宿舎での生活サポートも含めた取り組みを行ってゆきます。またチャレンジカップスキー大会の支援活動にも力を注ぎます。

これらの事業を実施するにあたっては、参加者の実費負担を原則とはいたしますが、セミナーや行事運営、委員諸活動、ボランティアへの謝礼その他に多くの資金が必要となってまいります。一昨年度から、スポーツ振興くじ（toto）助成金の交付申請が認められ、備品の整備が整いつつあり、より充実した内容の運営が出来るものと考えておりますが皆様の「善意の賛助会費」については今後も機会ある毎にお願いしてまいります。今シーズンもハンディキャップセミナーへのご参加、ボランティア登録及びスキー教室等のボランティア参加もあわせてよろしくお願い申し上げます。

なお指導員、準指導員の方々は、研修会・クリニックと併設で行われるハンディキャップ行事へのボランティアとしての参加協力は、研修会・クリニック参加として認められますので宜しく願いいたします。

公益財団法人神奈川県スキー連盟
総務本部ハンディキャップ委員会

ハンディキャップ委員会 活動報告

平成24年 9月

◎ハンディキャップセミナーⅠ・Ⅱ

Ⅰ. 障がい者のサポートについて：平成23年10月23日（日）神奈川県立三ツ沢スポーツ会館

参加者：17名 講師：1名 役員：1名 ゲスト：1名（下肢障がいをもつ方）

Ⅱ. 雪上でのサポート・指導実践：平成24年1月20日（金）白馬五竜スキー場

参加者：23名 講師・スタッフ：2名

NPO法人プレジャーサポート協会 馬場賢親氏を講師にお迎えし、「Aカテゴリー：知的障がいをもつ方と下肢障がいをもつ方へのサポート」を中心として、より具体的な講習と実践の体験を行いました。セミナーⅠでは、障がいの理解（座学）に加え、ロープを使用した介助法とアウトリガーの使用法を中心に学び、セミナーⅡでは、雪上でのサポートの基本と疑似体験を、実践的に取り組みました。



◎ 障がいをもつ方のためのスキー教室

五竜・車山で実施される2回のスキー教室について、スポーツ振興くじ（toto）助成金979,000円の交付を受けることができました。

・第19回 スキー教室 平成24年1月22日（土）～23日（日）：白馬五竜スキー場

参加者25名（視覚5名・聴覚1名・知的11名・下肢4名・家族4名）

役員・委員：14名 ボランティア講師：17名 検定会合格者：3級 3名

・第20回 スキー教室 平成24年3月24日（土）～25日（日）：車山高原スキー場

参加者58名（視覚6名・知的19名・下肢23名・家族等10名）

役員・委員：11名 ボランティア講師：37名

検定会合格者：1級2名・2級1名・3級4名・4級5名・5級10名

さまざまな障がいをもつ方が参加され、初めてスキーをする方の参加も多かったが、多くのボランティアの方の協力により、少人数での班分けができ、障がいやスキーレベルにあわせた、楽しく充実した講習を実施することができました。

◎チャレンジカップ

・第10回チャレンジカップ 平成24年4月6日（金）～8日（日）：鹿沢スノーエリア

参加者：10名（聴覚1名・知的2名・下肢7名）

役員・委員：3名 ボランティア・介助者：6名

GSは10名、SLは8名の方がエントリーし、練習の成果が発揮できていました。

◎ハンディキャップ委員会活動

平成23年8月から5回の委員会と5回の作業会を実施し、行事の準備をいたしました。

11月の指導員研修会へは、手話通訳者の派遣を行いました。また、養成講習会には、準指導員受検者への介助サポートも行いました。

◎賛助会費

6月協会長会議・9月手続き要領説明会・11月指導員研修会理論・1月五竜スキー教室・3月車山スキー教室等で、多くの賛助会費のご協力をいただきました。

合計金額 87,000円 （のべ20の個人・団体の方々より）

行事運営費の一部として、大切に使用させていただきました。ありがとうございました。